

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	ティーエムパック株式会社		
事業所の名称	ティーエムパック株式会社		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港2丁目4番1号		
主たる事業	飲料・たばこ・飼料製造業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	当社は、以下の基本方針に基づきエネルギー使用量の削減に努めます。 【基本方針】 1. 事業活動を通じて、環境保全活動を行います。 2. 環境保全に関連する法規制を遵守します。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	7,243 t-CO ₂	基準原単位	0.805
	目標年度	2022年度	目標排出量	7,000 t-CO ₂	目標原単位	0.78
			削減率	3.35 %	削減率	3.10 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020年度	排出量	6,382 t-CO ₂	排出原単位	0.8773
			削減率	11.88 %	削減率	-8.99 %
	排出量等の増減理由	生産数の減少に伴い排出量は減少したが、原単位としては増加した。				
	第2年度	2021年度	排出量	6,555 t-CO ₂	排出原単位	0.8688
			削減率	9.49 %	削減率	-7.93 %
	排出量等の増減理由	生産数の増加(前年比104%)に伴い排出量は増加。原単位では微減。				
	第3年度	2022年度	排出量	6,905 t-CO ₂	排出原単位	0.864
		削減率	4.66 %	削減率	-7.33 %	
排出量等の増減理由	生産数:800万函 前年比 106%:基準年(2019年度)比 88%生産数に伴い、排出量は前年より増加、基準年との比較では減少している。原単位についても、生産数が増加により、原単位の削減が実施できているが、基準年までには到達していない。生産数の違いが大きく影響している。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	70 %	目標年度	96 %
	第1年度	78 %	実施状況の説明等	管理標準の整備が進んでいない。担当を決めて進めて行く。
	第2年度	78 %	実施状況の説明等	人員減により担当決め・管理標準整備が進んでいない。
	第3年度	81 %	実施状況の説明等	管理標準整備が進んでいないが、次年度目標に整備を進める

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	生産性管理		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	廃棄物削減対策の実施	スクリーンプレス式脱水機の導入による排出茶殻量の削減	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	工場内・倉庫内 照明のLED化	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	恒温室縮小(1/2)によるエネルギー削減	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	工程条件の変更による蒸気量削減	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	茶殻排出ライン(水搬送ライン)の見直しによる蒸気量、水使用量の削減	未実施